

新型コロナウイルス感染症（京都市内における先週（10/25～10/31）の状況）

◆先週の特徴など

○概況

先週（10/25～10/31）の新規感染者数は、先々週（10/18～10/24）と同数の37人、感染経路不明の新規感染者数は△2人（△10.5%）減の17人となっており、横ばいの状況となっています。

ただし、週の後半にかけて新規感染者数や感染経路不明が増加していることに注意する必要があります。

○冬を迎える前に感染対策の点検を

ヨーロッパでは、最近、感染者数や死者数がこれまでにない規模で急増しており、再び外出制限などの厳しい措置を行うこととした国もあります。

また、国内でも、10月以降は全国的に微増傾向が続いており、とくに、北海道では先週の後半にかけて、1日当たりの新規感染者数が過去最多を更新する状況となりました。

新型コロナウイルスは、気温や湿度が低い環境で感染が拡がりやすいといわれており、ヨーロッパや北海道の感染者数の急増は、一足早い冬の訪れによるものかもしれません。

これからの寒い季節の到来が流行につながることを防ぐため、普段の感染対策を点検し、一層徹底を図ってください。

・こまめに手洗いをする

外から帰ってきたとき、くしゃみや咳をしたとき、食事の前など、石けんでしっかりと手を洗いましょう。

・屋内や人混みではマスクを着ける

新型コロナウイルス感染症は、症状がなくても、飛沫によって周りのひとを感染させてしまうことがあります。マスクをすることで、飛沫の広がりを抑え、飛沫を浴びにくくします。十分な距離がとれない屋内や人混みでは、できるだけマスクを着用しましょう。

・三つの密を避ける

換気が悪い（**密閉**）、多数が集まる（**密集**）、至近距離・マスクなしでの会話・発声（**密接**）があるところでは、感染のリスクが高まります。とくに、**寒くなると、屋内の換気が不十分になりがち**ですので、御注意ください。

・体調が悪いときは、自宅で休む

新型コロナウイルス感染症は、症状が出た直後が最もひとにうつしやすい時期といわれています。熱がある、のどが痛い、体がだるいなど、風邪のような症状が少しでもあれば、外出を避け、自宅でしっかり休みましょう。

なお、**風邪のような症状がでたときは、お近くのお医者さんに、まず、電話で相談のうえ、指示にしたがって、診療・検査を受けてください。**

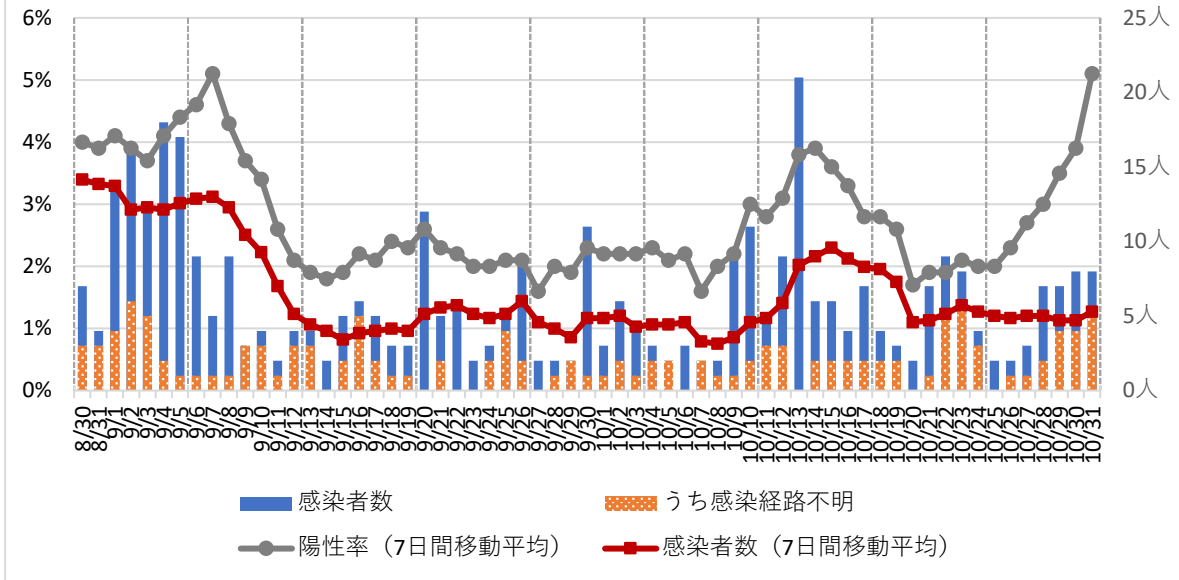
※ 休日・夜間など受診できる医療機関がない場合は、「きょうと新型コロナ医療相談センター」

（075-414-5487）に相談してください。

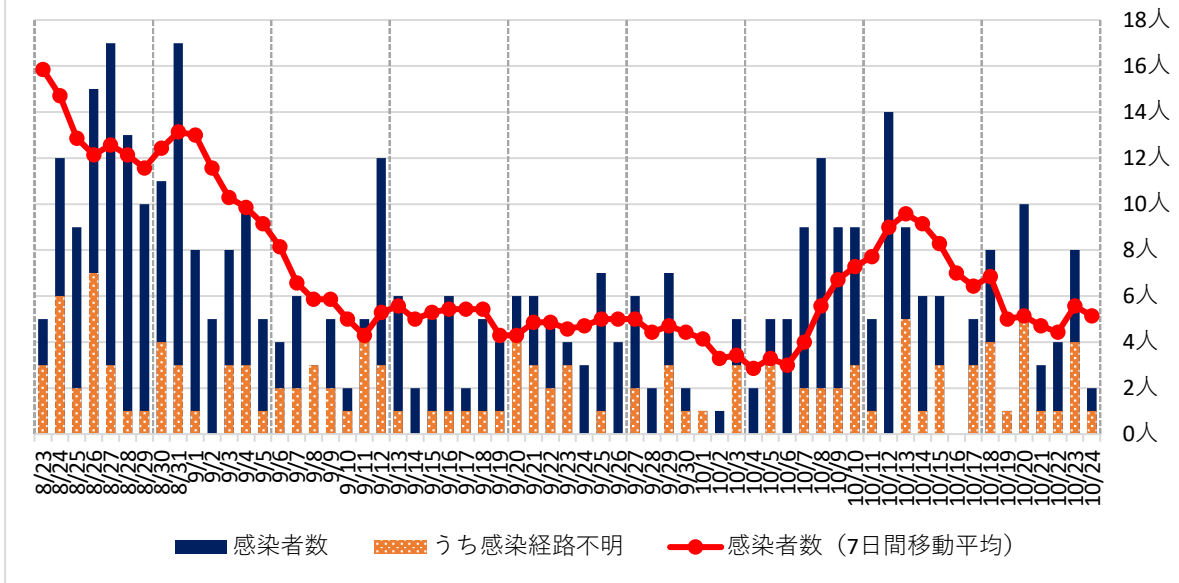
◆新規感染者数

先週の新規感染者数	37人 前週比+0人	1日当たり平均	5.29人 前週比+0人
感染経路判明	20人 (54%)	10万人当たり新規感染者数/週	2.53人
感染経路不明	17人 (46%)	PCR検査陽性率（7日間移動平均）	5.1%

新型コロナウイルス感染者数（京都市内，日別）



新型コロナウイルス感染者数（京都市内，発症日別）



◆病床の状況

	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日
重症者病床使用率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	2.3%	2.3%
	(0人/86床)	(0人/86床)	(0人/86床)	(0人/86床)	(1人/86床)	(2人/86床)	(2人/86床)

- ・療養中患者数（10月31日現在） 65人（前週比△6人）
先週の新規感染者（37人）のうち，検体採取時に「無症状」の方は5人です。

◆感染者の年代

